



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 新電元工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6844 URL <http://www.shindengen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森川 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 企画部長

(氏名) 千葉 昌治

TEL 03-3279-4431

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	61,370	△1.3	1,248	△70.7	676	△77.7	1,216	△36.0
24年3月期第3四半期	62,160	△7.4	4,258	△34.3	3,034	△43.2	1,900	△51.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,203百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △130百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.17	—
24年3月期第3四半期	17.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	109,199	35,076	32.1
24年3月期	111,920	34,541	30.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 35,076百万円 24年3月期 34,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当について記載しております。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	6.6	2,100	△58.2	1,500	△59.5	2,000	33.1	18.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 有 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	103,388,848 株	24年3月期	103,388,848 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	338,996 株	24年3月期	332,730 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	103,053,693 株	24年3月期3Q	103,059,799 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の予想とは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A 種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	0.00	—	15.40	15.40
25 年 3 月期	—	0.00	—		
25 年 3 月期（予想）				15.40	15.40

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により緩やかに回復基調を辿ったほか、昨年末の政権交代によるデフレ脱却への期待感などから円安・株高が進む一方で、長期化する欧州経済の低迷や新興国の景気減速などにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、自動車市場が国内の補助金効果や北米の復調もあり好調だったほか、電力全量買取制度の開始により太陽光発電市場は投資が活発化、調整局面にあったアジア二輪車市場も緩やかに回復する一方で、家電市場や産業機器市場は引続き低調に推移いたしました。

このようななか当第3四半期連結累計期間の売上高は613億70百万円（前年同期比1.3%減）となりました。利益面においては、減収に加え、上半期を中心にタイの洪水の影響が残ったことなどにより、営業利益は12億48百万円（前年同期比70.7%減）、経常利益は6億76百万円（前年同期比77.7%減）となりました。四半期純利益は当第3四半期連結会計期間にタイの洪水被害に係わる受取保険金を特別利益として計上した結果、12億16百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

①デバイス事業

デバイス事業の売上高は215億42百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益は22億23百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

自動車市場においては、エコカー補助金効果や北米の復調などを背景に小型面実装ダイオードが好調を持続する一方で、家電市場においてはデジタル家電を中心に低迷し、ダイオードやI C製品が減少したほか、産業機器市場でも企業の設備投資抑制の動きが続き大型整流ダイオードが低調に推移し、売上高、利益とも減少いたしました。

②モジュール事業

モジュール事業の売上高は306億87百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は9億36百万円（前年同期比53.3%減）となりました。

アジア二輪車市場は、インドネシアやベトナムが金融引き締め策による減速から緩やかに回復し、主力のレギュレータ需要等が復調し始めたほか、汎用エンジン市場では発電機用インバータが堅調に推移いたしました。また、新エネルギー市場においては、昨年7月に開始した電力全量買取制度により太陽光発電向けパワーコンディショナが急伸し、増収となりました。一方、利益面においてはアジア通貨安や上半期を中心にタイの洪水の影響が残ったことなどから減益となりました。

③システム事業

システム事業の売上高は69億64百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は20百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

国内通信市場において、移動体基地局用の電源需要が一巡しているほか、情報市場におけるストレージ装置用電源も競争激化により減少しました。しかしながら、スマートフォン需要の増加やLTEのエリア拡大による基幹系の整流器需要の増加等もあり、売上高、利益ともに前年同期とほぼ横這いとなりました。

④その他

売上高は21億77百万円（前年同期比34.2%減）、営業利益は21百万円（前年同期比94.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,091億99百万円（前期末比27億21百万円減）となりました。これは、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金などの短期債権が減少したことなどによるものであります。

また、負債は741億23百万円（前期末比32億56百万円減）となりました。

純資産は350億76百万円（前期末比5億35百万円増）となり、自己資本比率は32.1%となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は327円62銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年11月7日に公表いたしました平成25年3月期通期連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,501	33,480
受取手形及び売掛金	20,549	18,684
商品及び製品	4,754	6,387
仕掛品	3,320	3,323
原材料及び貯蔵品	9,150	8,287
繰延税金資産	280	123
その他	3,117	2,117
貸倒引当金	△24	△19
流動資産合計	76,649	72,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,766	8,099
機械装置及び運搬具（純額）	5,656	6,573
土地	4,824	4,824
その他（純額）	2,746	2,990
有形固定資産合計	20,993	22,488
無形固定資産		
のれん	—	165
ソフトウェア	510	479
その他	190	295
無形固定資産合計	700	939
投資その他の資産		
投資有価証券	10,667	11,534
繰延税金資産	1,303	1,345
その他	1,655	557
貸倒引当金	△49	△51
投資その他の資産合計	13,577	13,386
固定資産合計	35,271	36,814
資産合計	111,920	109,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,902	16,560
短期借入金	4,787	5,483
1年内償還予定の社債	5,400	400
繰延税金負債	3	3
賞与引当金	716	—
資産除去債務	—	2
その他	4,549	4,145
流動負債合計	33,360	26,596
固定負債		
社債	6,600	6,300
長期借入金	26,458	29,675
退職給付引当金	9,152	10,033
役員退職慰労引当金	5	6
資産除去債務	144	145
繰延税金負債	428	430
その他	1,230	935
固定負債合計	44,019	47,527
負債合計	77,379	74,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,823	17,823
資本剰余金	9,009	9,009
利益剰余金	9,182	9,859
自己株式	△112	△113
株主資本合計	35,902	36,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713	756
為替換算調整勘定	△2,074	△2,258
その他の包括利益累計額合計	△1,361	△1,502
純資産合計	34,541	35,076
負債純資産合計	111,920	109,199

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	62,160	61,370
売上原価	50,241	52,168
売上総利益	11,919	9,202
販売費及び一般管理費	7,660	7,954
営業利益	4,258	1,248
営業外収益		
受取利息	57	57
受取配当金	154	174
為替差益	—	1
持分法による投資利益	106	213
その他	259	319
営業外収益合計	578	766
営業外費用		
支払利息	566	586
為替差損	541	—
退職給付会計基準変更時差異の処理額	464	464
その他	230	287
営業外費用合計	1,802	1,337
経常利益	3,034	676
特別利益		
受取保険金	—	881
特別利益合計	—	881
特別損失		
投資有価証券評価損	1	59
減損損失	—	6
特別損失合計	1	66
税金等調整前四半期純利益	3,033	1,492
法人税、住民税及び事業税	834	406
法人税等還付税額	—	△244
法人税等調整額	226	113
法人税等合計	1,061	275
少数株主損益調整前四半期純利益	1,972	1,216
少数株主利益	71	—
四半期純利益	1,900	1,216
少数株主利益	71	—
少数株主損益調整前四半期純利益	1,972	1,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,548	42
為替換算調整勘定	△388	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	△165	△17
その他の包括利益合計	△2,102	△13
四半期包括利益	△130	1,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201	1,203
少数株主に係る四半期包括利益	71	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	デバイス 事業	モジュール 事業	システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,808	27,926	7,116	58,851	3,308	62,160	—	62,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,275	45	—	3,321	—	3,321	△3,321	—
計	27,084	27,972	7,116	62,172	3,308	65,481	△3,321	62,160
セグメント利益	3,791	2,002	0	5,794	367	6,161	△1,902	4,258

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,902百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	デバイス 事業	モジュール 事業	システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,542	30,687	6,964	59,193	2,177	61,370	—	61,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,946	54	—	3,000	—	3,000	△3,000	—
計	24,488	30,742	6,964	62,194	2,177	64,371	△3,000	61,370
セグメント利益	2,223	936	20	3,179	21	3,201	△1,953	1,248

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,953百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。